

近藤 さえ子の 小枝通信

一本の小枝がつなぐお母さんの声

一本の小枝で結ぶ地域の世代

一本の小枝が渡す地域と区政

No.38 2021年8月発行

昨年に続き、今年もコロナ禍での暑い夏になりました。

日々の挨拶は「接種した?」「今年も花火できないね」「緊急事態宣言下でのオリンピック開催、感染拡大が心配だわ」・・・決して明るい話にはなりません。長引く新型コロナ感染の拡大は、私たちから当たり前の日々を奪いました。一方で、普段特に考えることもなく回っていた個人の日常生活、あまり気にしていなかった政治や経済について、そしてオリンピック・パラリンピックとは何かなど様々なことを考える機会を与えられたようにも思えます。

中野区議会は、5月から議員任期4年の後半期となり、私は、常任委員会は厚生委員会、特別委員会は情報政策等調査特別委員会に所属しました。

厚生委員会は、高齢者・障がい者施策、地域包括ケア、地域活動、スポーツ施策、犯罪被害者支援、更生保護等、私が得意とする分野です。実態をよく知る区民の目線で質問を重ねています。

情報政策等調査特別委員会は、情報政策について調査をする委員会です。生活の中にICT(情報通信技術)が次々導入され、高齢者でも避けて通ることが難しくなってきました。高齢者や学校教育現場等に、急速な変化による無理や無駄が生じないか等、しっかり意見したいと思います。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

暑さ厳しい日々、皆様心身ともにご自愛ください。



中野区基本構想

3月23日の本会議で中野区基本構想の賛否を問う議決が行われ、賛成21(立憲9・共産6・無所属6)、反対20(自民・公明・都ファ・無所属2)の1票差で可決されました。このように、以前は自公の圧倒的多数で決まっていた議会運営も、無所属議員8人の投票行動によって大きく変わる状況となっています。

新たな機能を持つ児童館のあり方、生活援護事務所の配置、教育センターや保健所の機能強化等、基本計画・施設配置計画が10月に策定されます。



また中野区構造改革実行プログラム(案)が示され、私が長年にわたり「おかしい」と指摘してきた地域スポーツクラブの在り方等もようやく「改革に着手する」ことになりました。私は厚生委員会で、これまでのやり方を反省し、住民主体のスポーツクラブになるよう発言しました。(下「厚生委員会」参照)

新型コロナワクチン接種

中野区は4月から接種券を送付、医師会館、区民活動センター、個別接種(区内146カ所の医療機関)でワクチン接種を行ってきました。また64歳以下にも接種券が早めに届き、大規模接種センターで接種された区民も多くいました。

7月15日現在の接種状況

65歳以上	接種券送付数	70,492人
	1回目接種	57,210人(81.2%)
	2回目接種	47,734人(67.7%)
16歳～64歳	接種券送付数	234,649人
	1回目接種	51,665人(22.0%)
	2回目接種	4,754人(2.0%)

今後、国のワクチン供給量減少に伴い、新規予約の一時停止、区の集団接種の新規受付の5割削減(8月16日から)等の対策を講じますが、それでも9月末までには、当初計画の想定を超える33万9千回の接種が可能とのことです。

ワクチン接種に関しては、中野区が他区に比べても素早い対応が出来たことは評価できると思います。



<http://saekonikki.exblog.jp/>  日々の活動をお知らせしています。

6月8日 厚生委員会

11件の所管事項の報告を受けました。

私は以下について質問しました。「中野区構造改革実行プログラム(案)」「『令和2年度(2020年度)暮らしの状況と意識に関する調査』の実施結果」「感染症影響下における見守り・支援に関わる生命保険会社との連携・協力」「中野区地域スポーツクラブ及びスポーツ・コミュニティプラザのこれまでの経過と今後の展開」「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業」

今回、中野区構造改革実行プログラム(案)において、中野区地域スポーツクラブ及びスポーツ・コミュニティプラザの見直しが検討されることが示されました。「中野区は地域スポーツクラブの在り方

について間違っ

について間違っ

私の議会報告

近藤さえ子は第1回および2回定例会で以下の質問をしました。



第1回定例会

一般質問(2021年2月19日)

1.地域包括ケア体制の実現について

多様な課題を抱える区民を支援する仕組み作りは難しい。相談窓口が増えることは有難いが、相談に来ることのできない区民をどのように支援できるのか。

コロナ禍で困っている人に食品を提供する等、介護事業から地域の人たち全体を支援するネットワーク作りへと発展させている「しらさぎ桜苑」等をモデル事業として検討してはいかがか。

区長答弁 相談先を周知するチラシのポスティングや広報等を実施し、支援が必要な方の発見と支援に粘り強く務めていく。

2.「遊び心あふれる文化芸術」の見出しについて

アニメやサブカルチャー等の文化に気軽に接することは良いが、伝統芸術や文化芸術もひとくくりにして「遊び心あふれる文化芸術を展開して賑わいに結びつける」ことには違和感がある。

また「遊び心」という表現は、犯罪加害者が使う「ほんの遊び心から」を思い出させる不快な言葉でもある。どのように考えるか。

区長答弁 「遊び心あふれる」の趣旨について、誤解や混乱を招くことのないよう丁寧に説明したい。



第2回定例会

一般質問(2021年6月3日)

1.新型コロナウイルスワクチン接種について

4月中旬75歳以上の高齢者宛に接種券が届いたが、同封されていた説明書が分かりにくかった。いつ?どこに?どのような手順で?予約をすれば良いのか、最も大切に単純な内容が読み取れなかった。高齢者への説明はまず伝えたいことを大きく端的に記することが大事である。

また、多くの75歳以上の方が、コロナワクチンナビ、2次元コードを活用できなかった。今後は当事者の目線を持って、わかりやすい案内文を作成して欲しい。

区長答弁 高齢者に必要な情報が届くよう、わかりやすい表現に努める工夫をしていきたい。



<http://saekonikki.exblog.jp/>



日々の活動をお知らせしています。

5月19日 アメリカ同時多発テロ被害者遺族が翻訳出版

「あすの会」(全国犯罪被害者の会2018年解散)でお会いした住山一貞氏(83歳)は、2001年9月11日のアメリカ同時多発テロで息子さんを亡くされた被害者遺族です。その彼が、アメリカ調査委員会発行の報告書「The 9-11 Commission Report」を翻訳されましたが出版社が見つからず、出版費用の一部をクラウド・ファンディング(寄付)で集めることになりました。(現在締め切りしました)

報告書全文をお一人で翻訳された住山氏に敬意を表します。

6月26日 被害者遺族の闘い

「9.11の真実を知りたい」「テロを無くしたい」との思いから住山氏が翻訳された報告書の出版を実現するために、クラウドファンディングを募り、寄付を呼び掛けてきました。私も多くの方にこの事実を知っていただきたく、お知らせしてきましたが、昨日の締め切りまでに初回目標の300%を達成し、出版の運びとなりました。

住山氏の強さと息子さんへの愛は、多くの方々に大きな感動を与えました。

こ えた

小枝ネット(ホームページ) <http://www.koeda-net.com/>

近藤 さえ子 プロフィール

近藤正二(中野区議11期)の次女 北原小・十一中・吉祥女子高・和光大学卒 中野区議会議員(5期) 趣味:テニス

こ えた

近藤 さえ子の小枝通信

発行:中野市民の会 編集:近藤さえ子事務所

TEL&FAX 03-3330-9584

E-mail saekokondo@mbh.nifty.com